

今回は、先生から国語に関連したことを紹介したいと思います。

春に関する漢字についてです。

「桜」これは、何と読みますか。そうですね。「さくら」です。

では、「蒲公英」は何と読むか知っていますか。この漢字も春に関する漢字です。

緊急事態宣言が出された中で、なかなか春を感じることができていないかもしれませんが、少しでも春を感じてほしいと思います。

では、もう少し春の漢字を出題します。

「立春」…

「清明」…

「雨水」…

「啓蟄」…

「春分」…

「穀雨」…

どうでしょうか。読めますか。

「あっ」と思った人は、素晴らしいですね。そうです。実は小学校6年生の国語で「春のいぶき」という単元に出てきた季節を表す言葉です。難しい言葉もありますね。意味も辞書で調べてみてくださいね。

みなさんは、どんなものに春を感じますか。春は生き物が盛んになります。植物を表す漢字でよく見かける部首の「くさかんむり」。そこから「くさかんむり」がつく漢字を辞書で調べたり、春を表す漢字を調べたりするのもいいかもしれませんね。終わったときには「くさかんむり」博士になっていること、間違いなしですね。

「啓蟄」…けいちつ、「春分」…しゅんぶん、「穀雨」…こくう

「蒲公英」…たんぽぽ、「立春」…りつしゅん、「清明」…せいめい、「雨水」…うすい